

平成30年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第2回学校運営協議会 報告

1. 日時・場所	平成30年12月4日(火)午前10時00分から12時00分・交野支援学校四條畷校准校長室	
2. 出席者	【学校協議会委員】	
	高塚 良則	元大阪府立学校長
	田中 彰	四條畷市砂自治会長
	杉本 匡子	(社)るうてるホーム通所事業部長
	加藤 美朗	関西福祉科学大学准教授
	北口 信二	北河内障害者就労・生活支援センター長
	西田 由紀子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	【事務局】	
	准校長	赤木 瑞枝
	教頭	河上 鉄男
	課長補佐	香西 朝夫
	首席・中学部主事	溝部 晃輔
	首席・高等部主事	村上 智則
傍聴希望者なし		
3. 次第	(1)准校長挨拶(赤木准校長) (2)自己紹介 (3)「平成30年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について (4)学校教育自己診断アンケート・授業アンケートについて (5)その他	
4. 報告	【平成30年度学校経営計画及び学校評価】について 准校長より現時点での進捗状況のについて、「つながり」「いきいき」「豊かな学び」の3つのキーワードに沿って説明があった。 つ な が り…進路関係では高3生の進路先が決まりつつある。また進路学習として中学部でも事業所見学、高等部では体健実習を行っている。学校単位で取り組む交流のほかにも、中学部では希望者に対して居住地交流を今年度より始めた。HP もリニューアルし地域への発信に努める。 い き い き…安心安全な学校を目指す取り組みとして、今年度よりアレルギー対応委員会を立ち上げるとともに、補助食品持参のルール等も定めた。防災委員会では、今年度の災害対応を振り返り、反省を今後につなげていく。 豊かな学び…ICT 教育環境の充実のため、プロジェクターを購入する。施設・設備面では、新たに特別教室にエアコン設置の見通し。初任者等の研究授業については計画通り進んでいる。ただ教員間の授業見学については、低調な実施率となっている。 【学校教育自己診断アンケート・授業アンケートについて】 教頭より各アンケートの質問項目等について説明を行った。学校教育自己診断アンケートについては現在集計中。第3回学校運営協議会で報告予定。	

委員よりの意見

高塚会長より、地域連携が少しずつ前進しているので、次年度以降も学校経営計画に盛り込んでいくようにとのことであった。また学校経営計画にある、「主権者教育」「性に関する指導」については、家庭とどう連携できるかがカギである旨も助言があった。

自己診断アンケート・授業アンケートについては、本来この場で質問項目等を検討すべき。また回収率を上げる工夫が必要との指摘もあった。

杉本委員より、居住地校交流について、具体的な内容や相手校の反応などについて質問があり、今後、交流等を通して地域連携や障がい理解が進むようにとのお話があった。

加藤委員からは、地域連携の重要性についてお話があり、地域にしっかりと支援学校の存在をアピールするようにとのことであった。また、卒業後の学校としてのサポートについて質問が出た。教員の研修についても、ビデオ等を活用して、相互に良い授業を学びあう機会を作ってはどうかというアドバイスをいただいた。

田中委員より、「授業アンケート」が少しわかりにくい部分があることを指摘があった。また、地域とのつながりについて、シルバー人材センターと協働してみてもどうかとの提案があり、学校としても検討をしていくこととなった。自治会長としての地域の声や地域から見えている学校に対してのイメージも聞かせていただいた。

北口委員から、「教員の授業見学」について質問があったほか、自己診断アンケートについては回答項目への疑問点が挙げられ、結果の分布に偏りが出る傾向も指摘があった。

西田委員からは、防災委員会について保護者まで姿が見えてこないことの声があげられた。PTAとしても具体的にどう動くべきか知らせてもらいたいということや、同時に教員と保護者と一緒に勉強会をしてみてもどうかと言う提案もあった。

その他

第3回学校運営協議会 平成31年2月7日(木)

場所: 准校長室